

# 株式会社大垣共立銀行（大垣市）



業 種：銀行業  
労働者数：4,433 人

●行動計画期間：平成27年4月1日～平成30年3月31日

●育児休業取得実績：男性1名、女性357名が育児休業取得

●取組のきっかけや成果



人事労務担当者

育児休業制度の利用者は年々増加しており、ワークライフバランスの観点から、会社としても長期に職場を離脱する方々が早期円滑に職場復帰を果たせるよう、男性の育児への積極的な参加を呼びかけ、子育てと仕事を両立できる職場環境の整備を進めるために計画を策定しました。

こうした地道な取組みにより、育児休業者や短時間労働者への職場の理解が進み、子育てと仕事の両立が可能な働きやすい職場環境が実現しています。

●働きやすい環境づくりのための取組

○ワークライフバランスの実現を図るため、多目的に利用できる「ハートフル休暇（年次有給休暇）」を計画的に一日付与しています。

○働き方改革を推進するため、終業時刻を繰り上げて退行を可とする「プレミアムフライデー」を実施しました。

●育児のための各種制度の整備や復職支援

○「子の看護休暇」の他、中学校就学前の子の学校行事に使用できる「子育て休暇」制度を整備

○育児等のライフステージに応じてアシスタント（パートタイマー）勤務に転換可能な「キャリア転換制度」を整備。その後、転換時と同資格処遇で行員（正社員）への復帰も可能な制度です。

●従業員の声



職場に復帰する際に時間外労働免除措置を選択していましたが、自分も子どもも生活リズムがついてきたので時間外労働制限措置へ変更しました。子どもの成長とともに働き方をステップアップできる制度は、大変ありがたいです。

子の看護休暇は、看護だけでなく、乳幼児健診にも利用でき、日々の子育てと仕事の両立にとっても助かっています。

（育児休業を取得した女性従業員より）

育児休業を取得したことで改めて育児に向き合う機会を得られました。「かわいいがだけ」の育児から「我が子の成長を支えるため」の育児への意識の転換も図れたと思います。そして、普段子どもを見てもらっている家族への感謝の気持ちも強くなりました。

（育児休業を取得した男性従業員より）

